地域自慢

“備前堀”を行く！

水戸市立浜田小学校
第３学年

備前堀は，千波湖の東はしから浜田・六反田・大串・平戸をへて，涸沼川にそそぐ人工の用水路です。用水路の長さは，およそ１２キロメートルで，六反田から分かれて大野を通り那珂川にそそぐ用水路，三又水門から分かれて渋井町を通り那珂川にそそぐ用水路もつくられました。

<Ｑ１　いつ，備前堀ができたの？>

今からおよそ４００年ほど前，江戸時代のはじめのころにつくられました。

<Ｑ２　だれがつくったの？>

江戸幕府をつくった徳川家康の家来であった伊奈備前 守 忠次によってつくられました。

<Ｑ３　なんのためにつくられたの？>

常澄地区の田畑への水の確保と千波湖の水があふれるのを防ぐためにつくられました。

備前堀の近くで見つけたよ！

<消魂橋>（江戸街道起点）

備前堀にかかる橋で，この橋を境にして水戸城下とその外とを区別していました。水戸を去る人々が別れをおしんだので，徳川光圀によって名づけられました。

備前堀周辺案内図

<常陸山橋>

今から８５年ほど前に，先祖の墓参りにおとずれた第１９代横綱常陸山が粗末な木橋を見て大金を出してつくった橋です。現在の橋は平成１３年（２００１）にかけかえられました。

《備前堀に関する記念碑》

水害対策記念碑↑
農業水利記念碑→

伊奈忠次の銅像

伊奈神社

《備前堀ぞいの神社》

市杵姫神社

竈神社

備前堀を歩いてみて，昔から備前堀が大切にされてきたことがわかりました。備前堀をきれいに守ろうとしている人がたくさんいました。自分たちもその思いを引き継いでいこうと思いました。

《わたしたちと備前堀》

わたしたちのくらしは，備前堀と大きくかかわっています。中でも毎年行っているのが，自分たちの先祖を供養するための“灯籠流し”です。８月１６日に昼間は子どもたちの手によって，夜は地域の大人の手によって行われます。子どもたちの灯籠は手作りです。お盆のころなので，心がきれいになる感じです。